

元気で歩こう会 里のみちから科学館まで 20. 8. 14



朝から30℃を越す猛暑日。「元気」自慢の13名が南町地区センターに集まりました。相変わらずの小生の拙い地図で皆さんたどりつくまでに相当に迂回したようで、集合に手間取りました。

そばの広場で自己紹介・準備運動の後、緑地保全地域から出発です。喧騒な都会を忘れさせるような静かな森の中を通り、18世紀ごろ開墾されたといわれる畑と雑木林を見ます。

途中何回も日陰で小休止を取りながら「梅うふふ」の梅林を見て科学館へと急ぎます。

南町地区センター～南町緑地保全地域～梅ワインの里の梅林～柳久保新田・雑木林～多摩六都科学館～南町地区センター
約5*_口



サルスベリはやはり夏のシンボルです。暑さを忘れさせます。



開墾された畑と、昔は薪や腐葉土の供給のために残された雑木林。



屋敷林のケヤキ通り



科学館までの道路の街灯が風変わりです。こども達に夢を与えようと、蟻の卵をデザインしたそうです。



館内は子ども達とお父さんお母さんでいっぱい。この人たち、元気で歩こう会のおじさん、おばさんのようです。童心に帰っています。



館内に雑木林の模型まで作られています。



これは模型ではありません。

館のそばの本物の雑木林です。急ぎよ駆けつけてくれた館の方が説明してくれます。



このやぐらは上から木や葉の観察ができるように作られたそうですが、木が成長してやぐらを越えています。このように、館内には「緑と生活の調和」をテーマに随所に工夫されたものが見られます。



写真撮影が終わったら、昼ご飯です。みんな落ち着かない様子ですね。館の方にそそくさと別れを告げて退去しました。

暑い一日が終わりました。